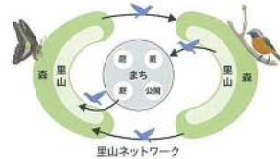


地域の自然循環を再生する庭やまちづくりの計画を、日本の「里山」をお手本にして進めています。

### 「5本の樹」計画

積水ハウスが提案する、「里山」を手本にした庭やまちづくりの計画です。生まいの庭に小さな「里山」をつくることで、地域の自然とつなぎ、失われつつある生態系ネットワークを維持・復活させようという取り組みです。日本各地の気候風土に合った在来種の樹木をこだわって植栽することで、いきものなど身近な自然と共生し、時とともに愛着が深まっていく庭づくりを目指しています。



### 「新・里山」「希望の壁」全体図



### 新梅田シティ周辺地図



5本の樹「野鳥ケイタイ図鑑」携帯電話やスマートフォンでここにアクセスすれば、樹木の情報はもちろん、それに関する鳥や蝶のことを詳しく知ることができます。

<http://Shonnoki.jp>



ひとといきものをつなぐコミュニティの場  
新梅田シティ

## 「新・里山」「希望の壁」

「5本の樹」計画による生物多様性への配慮



※本誌に使用している写真はすべて、新梅田シティ「新・里山」「希望の壁」にて撮影したものです。



積水ハウス株式会社

本社 〒531-0276 大阪府大阪市北区大淀中1丁目8番8号 梅田スカイビル タワーイースト  
お問い合わせ先 コーポレート・コミュニケーション部CSR課 TEL:06-6440-3440  
建設推進部 TEL:06-6440-3374  
ホームページ: <http://www.sekisuihouse.co.jp/>







野鳥や蝶などさまざまないきものが関わりながら共生し、人々が訪れる場所。「新・里山」では豊かな自然を感じ、いきもののドラマに出会えます。



しん さとやま  
「新・里山」

「新・里山」は、2006年夏、新梅田シティの北側部分約8,000㎡(2,400坪)の敷地に、積水ハウスをはじめとする地権者が共同で造成。

「新・里山」には、日本の原風景である「里山」を手本として、草花はもちろん、水田や野菜畑、雑木林、竹林、茶畑などを配しています。

また、無農薬有機栽培での米や野菜づくりなど、子どもたちや新梅田シティで働く人々やその家族らも体験できる貴重な場として活用しています。

野鳥ではハイタカやミズゴイ、昆虫ではカンタンやマツムシ、ハチの分蜂やトンボの羽化が観察できるなど、年間を通じてさまざまないきものが訪れています。

### 人々にとっての体験、憩いの場。

地域の幼稚園、小学校と協働した教育支援活動や、オフィスワーカーを対象とした「新梅田シティ里山くらぶ」による体験型ボランティア作業を定期的に実施。田植えや稲刈り、野菜の栽培など、都会に暮らす大人や子どもたちにとって普段なかなか体験できない貴重な農業体験の場として幅広く活用されています。



巨大緑化モニュメント「希望の壁」  
積水ハウスと建築家・安藤忠雄氏の  
コラボレーションで誕生した、緑の癒やし空間。

きぼうのかべ  
「希望の壁」

建築家・安藤忠雄氏の発案を受けて2013年秋に完成した「希望の壁」。

開花時期の異なる草木を計画的に配置することによって、四季に応じて表情が変わる高さ9m、長さ78mの斬新な巨大緑化モニュメントです。「新・里山」に隣接し、ともに豊かな生態系を育む自立緑化の植栽空間として、生態系ネットワーク形成に貢献しています。

「希望の壁」の形状は、深谷や崖など、自然にふさわしい立体的な環境を考慮しました。「人が参加し、育てる、都市緑化・自然再生の新しいモデル」をコンセプトとしています。



### 地元の子どもたちと育てています。

地元の子どもたちが「自然探検隊」となって、当社スタッフによるサポートのもと、いきものの観察や、花や樹木の植樹などを年間を通じて実施しています。これらの体験を通して、緑の大切さ・素晴らしさを改めて体感し、環境活動や生態系保全活動に関心を深めてもらう機会となることを目指しています。



### 安藤忠雄氏

Profile



写真：林義孝

1941年大塚生まれ。建築家。世界各国を旅した後、独学で建築を学び、1969年に安藤忠雄建築研究所を設立。環境との関わりの中で新しい建築のあり方を提案し続けている。代表作は「光の教会」「大阪府立近つ飛鳥博物館」「淡路夢舞台」「FABRICA(ベネトンアートスクール)」「フォートワース現代美術館」「東京東横線渋谷駅」「パンテラ・ド・ガナー」など。